

東北地方 1か月予報

(1月1日から1月31日までの天候見通し)

平成16年12月31日
仙台管区気象台発表

<予想される向こう1か月の天候>

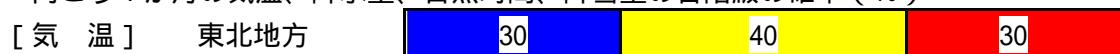
向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候は以下のとおりです。

冬型の気圧配置となる日が多いでしょう。平年と同様に東北日本海側は曇りや雪の日が多く、東北太平洋側は晴れの日が多い見込みです。

向こう1か月の平均気温は平年並、降水量は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で平年並が多い、日照時間は平年並、東北日本海側の降雪量は平年並でしょう。

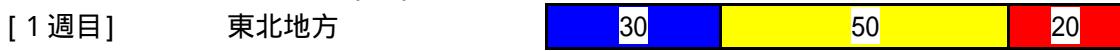
週別の気温は、1週目、2週目、3～4週目共に平年並でしょう。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間、降雪量の各階級の確率(%)>



 低い(少ない)  平年並  高い(多い)

<気温経過の各階級の確率(%)>



 低い  平年並  高い

<予報の対象期間>

1か月 : 1月 1日(土) ~ 1月 31日(月)

1週目 : 1月 1日(土) ~ 1月 7日(金)

2週目 : 1月 8日(土) ~ 1月 14日(金)

3～4週目 : 1月 15日(土) ~ 1月 28日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は1月7日

3か月予報：1月25日(火) 14時00分

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間、降雪量と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温 ()	降水量 (mm)	日照時間 (時間)	降雪量 (cm)	気温()		
					1週目	2週目	3~4週目
大船渡	0.7	43.5	148.6	13	1.6	1.1	0.3
新庄	-1.3	181.4	43.1		-0.6	-1.1	-1.6
若松	-0.7	80.9	80.9	139	0.1	-0.4	-1.0
深浦	-0.4	96.9	31.3	75	0.7	0.0	-0.8
青森	-1.4	144.9	56.7	271	-0.6	-1.1	-1.7
むつ	-1.6	96.0	77.0		-0.6	-1.2	-1.9
八戸	-1.2	48.2	134.5	39	-0.3	-0.8	-1.5
秋田	-0.1	114.4	44.6	98	0.8	0.3	-0.4
盛岡	-2.1	50.6	124.0	60	-1.2	-1.8	-2.4
宮古	0.2	52.6	163.6	21	1.2	0.6	-0.1
酒田	1.5	152.6	39.9	80	2.4	1.7	1.1
山形	-0.5	75.4	89.6	109	0.3	-0.3	-0.9
仙台	1.5	33.1	151.3	20	2.3	1.8	1.2
石巻	0.5	33.1	167.6		1.4	0.8	0.2
福島	1.4	43.8	136.6	44	2.2	1.7	1.1
白河	0.2	30.6	160.9		1.0	0.4	-0.2
小名浜	3.6	46.2	189.6	5	4.4	3.8	3.2

なお、気温、降水量、日照時間、降雪量の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間、降雪量の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)	降雪量平年比(%)
東北地方	-0.3~+0.8	81~103	96~107	86~101
東北日本海側	-0.3~+0.7	93~109	93~112	90~114
東北太平洋側	-0.3~+0.8	62~104	98~104	67~98

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.5~+0.8	-0.8~+0.7	-0.5~+0.9
東北日本海側	-0.5~+0.7	-0.8~+0.7	-0.5~+0.8
東北太平洋側	-0.5~+0.8	-0.8~+0.8	-0.6~+0.9

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。

階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるよう決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成16年12月31日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(1月1日~1月31日):

冬型の気圧配置となる日が多いでしょう。平年と同様に東北日本海側は曇りや雪の日が多く、東北太平洋側は晴れの日が多い見込みです。

平均気温は平年並でしょう。

1週目(1月1日~1月7日):

冬型の気圧配置となる日が多く、東北日本海側を中心に曇りや雪で、東北太平洋側では晴れの日が多いでしょう。期間の中頃は、気圧の谷の影響で東北太平洋側でも雨や雪の日があるでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

2週目(1月8日~1月14日):

冬型の気圧配置となる日が多いでしょう。平年と同様に東北日本海側は曇りや雪の日が多く、東北太平洋側は晴れの日が多い見込みです。

平均気温は平年並でしょう。

3~4週目(1月15日~1月28日):

冬型の気圧配置となる日が多いでしょう。平年と同様に東北日本海側は曇りや雪の日が多く、東北太平洋側は晴れの日が多い見込みです。

平均気温は平年並でしょう。

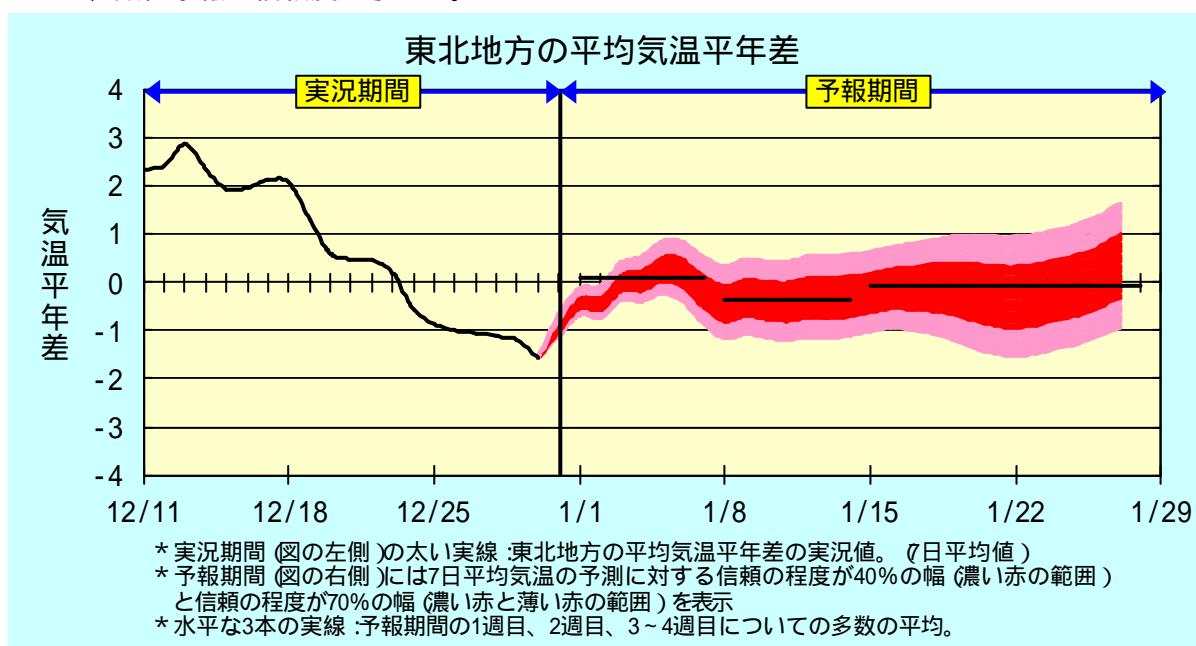
平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	4.8日	1.0日	1.2日	2.6日
東北太平洋側	17.6日	4.1日	4.4日	9.1日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1週目、2週目、3~4週目共に「平年並」と予測している。予報は、数値予報どおりとする。

なお、数値予報の信頼度は小さい。

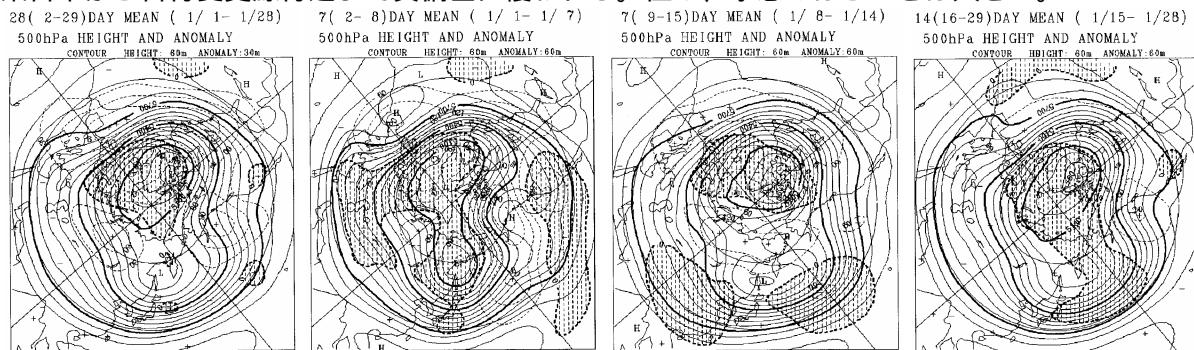


3. 数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

500hPa 高度と偏差：

月平均では、極付近に負偏差域があり、日本付近は広く正偏差に覆われる。

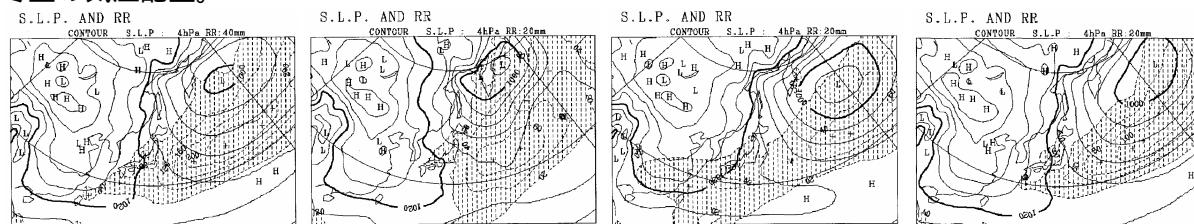
1週目は、東日本以北は負偏差に覆われて寒気の影響を受け易い。2週目は中国大陸と日本の東海上に負偏差があるが、日本付近はシベリア付近に中心を持つ正偏差に覆われる。3~4週目は、東日本から日付変更線付近まで負偏差に覆われる。但し、予想のばらつきは大きい。



地上気圧と降水量：

月平均では、アリューシャン付近に低気圧、中国大陸に高気圧があって、日本付近は冬型の気圧配置となり、本州を中心にまとまった降水域がかかる。

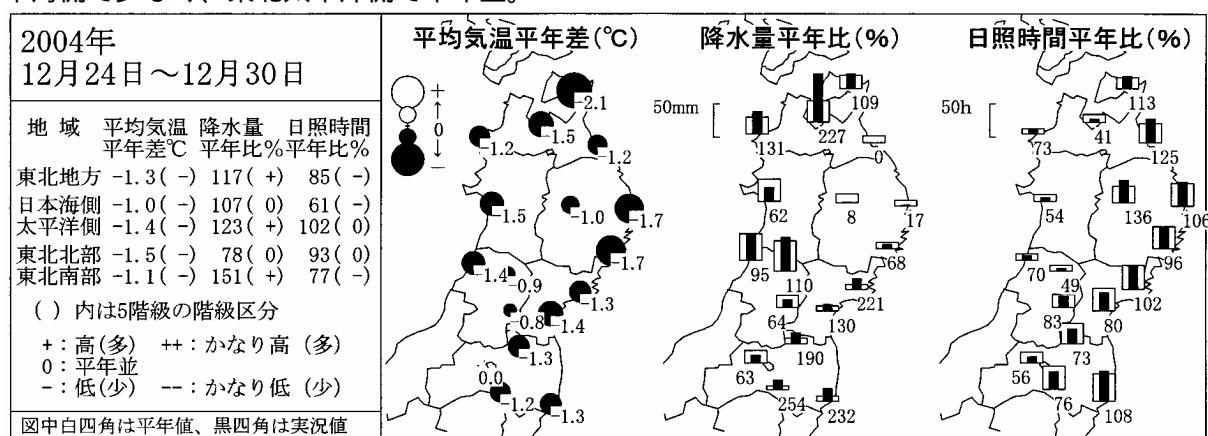
1週目は、冬型の気圧配置だが中国大陸の高気圧の北日本への張り出しが弱い。2週目は中国大陸の高気圧が沿海州に張り出し、北日本で冬型の気圧配置が強まる。3~4週目は月平均と同様に冬型の気圧配置。



4. 最近1週間（12月24日～12月30日）の天候の経過

この期間、冬型の気圧配置となる日が続き、日本海側を中心に雪となった。また、29日には低気圧が本州南岸を北東に進み、東北地方は南部を中心に大雪となるところもあり交通機関に障害が発生した。

平均気温は東北地方で低い。降水量は東北北部で平年並、東北南部で多い。日照時間は東北日本海側で少なく、東北太平洋側で平年並。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差(比)